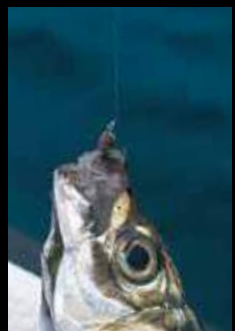


「シーガー使って今日も快釣」 鈴木新太郎のワンポイントアドバイス

★本文にもあったが、鈴木さんの仕掛けにはこだわりが詰め込まれている。まず幹糸、ハリスは強さとしなやかさが特長の「シーガーエース」1.5号を使用。ハリスは内掛け結び、幹糸との接続は8の字結びだ。

「よほどの大型かサバでもこないかぎり切られることはありません。枝間は60センチとしています。これは私の取り込みやすい長さ。自分の扱いやすい長さで決めてもらえばいいと思います」



作った仕掛けは掛け枠に収める。「取り出しやすいし、糸ゲセもつきにくいからです」と鈴木さん。各部のノットや掛け枠への収納法は近日、動画サイト「シーガーチャンネル」にて公開予定。

シーガー-PEX8

◎0.4～6号まで。1.5号は150m、200m、300m巻き。オープン価格

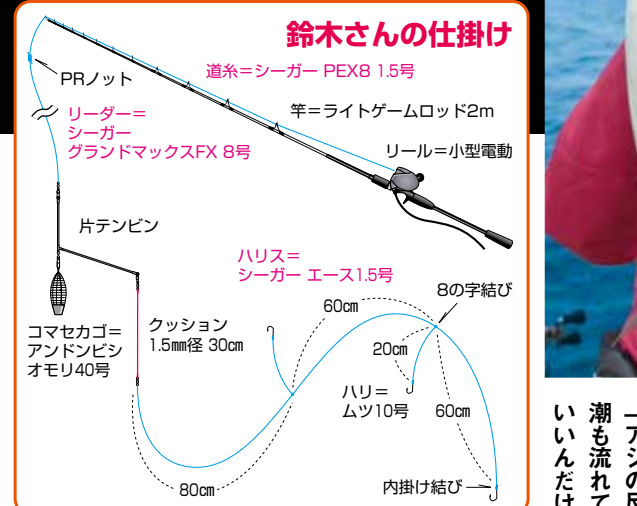
▲強くしなやかなシーガーエース1.5号がおすすめ

シーガーエース

◎0.3～20号まで。1.5号は10m巻き、50m巻き、100m巻き。メーカー希望本体価格670～3000円



▲掛け枠に収納するのが鈴木さん流
▶一日に3本バリ仕掛けを4～5組持参



鈴木さんの仕掛け

「東京湾のアジ、大好きなんです。手軽に釣れて食べてもいいんで」

普段は外房をメインに中大型魚を狙っている鈴木新太郎さんだが、年に数回、必ず釣行するのが東京湾のアジ。食通でも知られる鈴木さんをうならせる味、ある程度釣果は確実の「安定株」でもあるからだろう。

「女性や子どもでも簡単に釣れるのがアジです。船釣り初心者にはおすすです」

晴山さんにとって東京湾はホームグラウンド、ライトアジは釣行回数でも一番多い、得意の釣り物でもある。

乗船したのは東京湾奥船橋の内木。7時出船、13時納竿のショートライトアジ乗合である。定刻に棧橋を離れ、50分ほど走って木更津水深25メートル前後のポイント着。底から2メートルの指示で釣り開始となる。

鈴木さんが用意したのはハリス15号の自製3本バリ仕掛け。と聞けば市販品と変わらないようにも思えるが、使用したフロロカーボンハリスの特性、各部のノットや長さなど、様々なこだわりのある仕掛けだ（詳細は仕掛け図参照）。

このところ、アジの食いは今一つと内木船長。さっそく釣り始めた2人、



▲晴山さんのダブルに内木船長も祝福



▲追い食いを狙いながら「ほら、2つ食った」



▲思わず「うまそうなサイズ」と鈴木さん
▲負けじと晴山さんも良型



★終始笑顔の絶えない日、仲よく中型をゲット

釣れる
釣れる
釣れる
釣れる
釣れる

Challenge #65 東京湾奥
船橋出船のライトアジ
鈴木新太郎、晴山由梨
楽しく釣って、釣果も満足
東京湾のアジに癒された日



◀東京湾がホームの晴山さん、開始早々竿を曲げた
▶信頼のハリス、こだわりの仕掛けで
▼取り込みも手慣れたもの鈴木さんに及第点をもらう

◎ライトアジは東京湾内の船釣りを代表する釣り物。周年狙えて、数も釣れて、釣り味もよく、食べておいしいとなれば、人気の面でもナンバーワン。今回は日ごろ取材に明け暮れる鈴木新太郎、晴山由梨の両氏が癒しのライトアジを楽しんだ。